

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
大阪府大阪市中央区玉造一丁目2番40号

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
森下仁丹株式会社 代表取締役社長 森下雄司

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、
事業者行動計画を策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	森下仁丹株式会社 代表取締役社長 森下雄司
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市中央区玉造一丁目2番40号

1 事業者の概要

事業所の名称	森下仁丹株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960-12					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 医薬品製剤製造業
事業の概要	医薬品・食品等の製造および販売					
従業員の数	166	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	36	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	70	台
				照明設備	1600	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2019	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2022	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

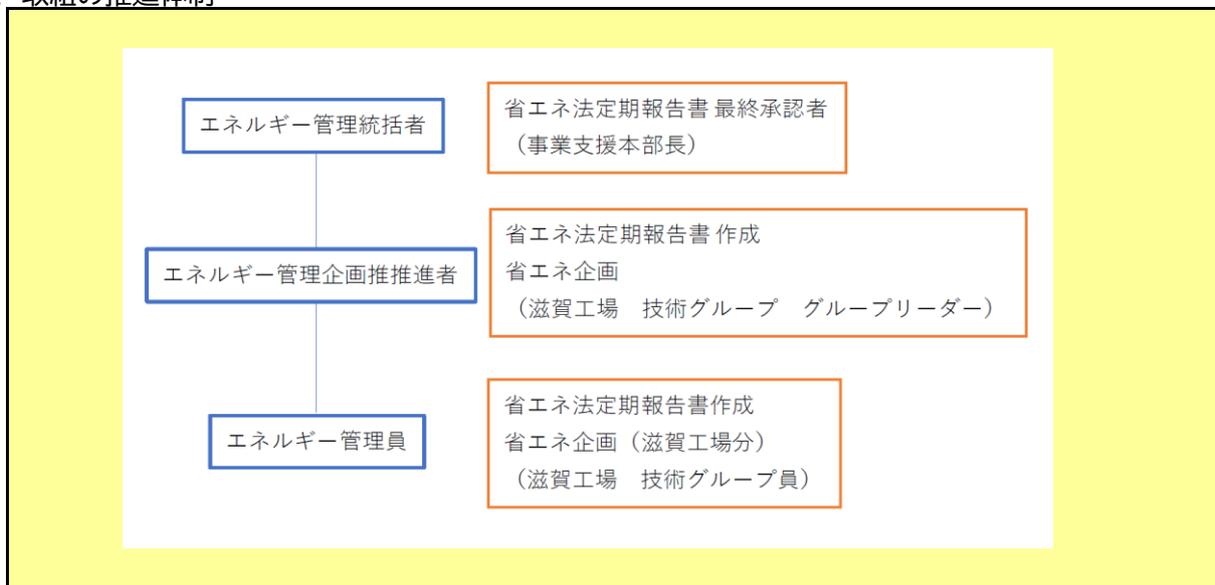
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たちは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして「シームレスカプセル」技術を活用した医薬品・食品及びその他用途のカプセルをグローバルに展開し、お客様に安全で安心して使って頂ける製品供給を目指します。これらの事業活動を通じて、環境パフォーマンスを向上するための継続的改善を以下の通り進めます。

1. 資源エネルギーを効率的に使用し、環境リスク軽減に努めます。
2. 環境リスクの軽減と継続的改善の積み重ねにより、地球環境汚染の予防に努めます。
3. 排水・排ガス・廃棄物による環境リスクを評価し、生物多様性及び生態系の保護等を含む環境保護に配慮します。
4. 琵琶湖の保全に関する法律、条令を含む法的要求事項及び同意するその他の要求事項を順守します。
5. 教育活動を通じて、環境に関する意識の向上を図ります。

環境方針は、森下仁丹株式会社滋賀工場で働くすべての人々に周知するとともに、利害関係者の要求があれば、紙媒体又は電子媒体で開示します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 「ノー残業デー」等の実施により、消費電力量の削減
- 蒸気バルブ・減圧弁・ストレナに高効率断熱材導入
- 生産用冷却水ポンプインバーター導入による電力量削減
- コンプレッサー1台老朽更新時インバーター式コンプレッサーの選定・導入
- グリーン購入製品の積極的な購入
- 老朽化による高効率ボイラーへの更新(重油焼きボイラー)
- ボイラー燃料転換によるCO₂排出量削減(重油 → 都市ガス)
- 冷凍機冷水供給ポンプインバーター導入
- 冬季冷却水ポンプ1台停止による電力量削減
- 乾式除湿機用排熱回収装置導入によるボイラー燃料使用量削減
- 省エネ冷凍機への更新
- LED照明の導入
- 熱風ヒートポンプ導入
- 空調用ファンの高効率モーター化
- 空調用冷凍機の運用改善
- 熱風ヒートポンプの運用改善

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	エアコン更新	2020年度 ～2024年度	一部の機器について2022年度更新完了
2	設備導入	コージェネレーション設備の導入	2019年度 ～2020年度	2019年度完了
3	運用改善	圧縮空気の漏れ対策によるコンプレッサーの負荷低減	2019年度 ～2020年度	「窒素発生装置の効率運用」に変更し2020年度完了
4	運用改善	コンプレッサーの廃熱利用	2019年度 ～2020年度	2020年度完了
5	運用改善	コージェネレーション廃熱利用効率の向上施策	2022年度 ～2024年度	省エネ効果試算完了

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組等により、2018年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>「原単位 = 温室効果ガス排出量 / 生産量」を、基準年度比で毎年1%削減</p> <p>尚、原単位の考え方は次のとおりです。 温室効果ガス排出量は製品の生産量に大きく影響を受けるため、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。なお、実績を目標と適切に対比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定に当たっては、電気のCO₂排出係数(電力原単位)は基準年度(2018年度)の係数に固定して算定します。</p>	<p>各取組に関する詳細状況は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エアコン更新」については来年度に新規更新に実施する。 ・「コージェネレーション廃熱利用効率の向上施策」については、来年度に工事を実施予定。 ・その他の取組については完了し、昨年度報告済みである。 <p>事業者行動計画目標については、CO₂排出量が基準年度比で+4.8%増加、原単位は基準年度比で-21.2%の削減効果を得ることができた。 CO₂排出量が基準年度比で増加した理由としては、生産量が基準年度比で32%増加したことが原因である。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					()年度
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
原油換算エネルギー使用量	kL	2,408	2,390	2,230	2,269	2,491	
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	4,321	3,736	3,461	3,664	3,611	
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	4,321	3,736	3,461	3,664	3,611	
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		6.689	6.479	7.013	6.404	5.236	

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
		2019年	2020年	2021年	2022年	()年度
保有車輛の数	台	1	1	1	1	
上記のうち 次世代自動車の数	台	0	0	0	1	1
特記事項						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	手順書の作成・教育訓練を行い、廃棄物の分別・再利用を実施	2019年～ 2022年	運用継続中
2	グリーン購入	事務用品についてはグリーン購入法適合品を優先的に選定	2019年～ 2022年	運用継続中
3	その他	ノー残業デーの推進	2019年～ 2022年	2021年より、水曜日だけでなく金曜日もノー残業デーに追加
4				
5				